

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 7 月 22 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 001-0023
	札幌市北区北23条西5丁目2-37
	株式会社エンパイアー
	代表取締役 内山 豪

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 第 2 3 条第 3 項 の規定により、環境保全行動
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	140		人	原油換算した	242.9		k1
	使用床面積	12658.36		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	17	事業所	自動車使用台数		139	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC			
		639 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂			
	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃				
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂				
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				☐ 第 1 項 ☐ 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				☒ 第 1 項 ☐ 第 2 項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考		組織体制変更のため事業所数に変更になりました。						

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
【報告期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	613 t	3 %	612 t	0 %	△	605 t	1 %	△	639 t	▲ 4 %	×
自動車の使用に伴う窒素酸化物の削減	154.47 kg	3 %	157.61 kg	▲ 2 %	×	180.29 kg	▲ 17 %	×	201.3 kg	▲ 30 %	×
自動車の使用に伴う粒子状物質の削減	4.99 kg	3 %	5.11 kg	▲ 2 %	×	5.45 kg	▲ 9 %	×	5.59 kg	▲ 12 %	×
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	走行ルートの見直し、余剰車の削減等行ったが、目標に達せず。
自動車の使用に伴う窒素酸化物の削減	×	走行ルートの見直し、余剰車の削減等行ったが、目標に達せず。
自動車の使用に伴う粒子状物質の削減	×	走行ルートの見直し、余剰車の削減等行ったが、目標に達せず。